

ビューティワールドジャパン 2016

出展報告

■ビューティワールドジャパン 2016■

今回で19回目の開催を迎えたビューティワールド ジャパンは2016年5月16日(月)～2016年5月18日(水)の3日間で東京ビッグサイトの東3-6ホールにて開催されました。国内外から500社を超える出展者と、60,000名を超える来場者が一堂に会する大きな美容のイベントです。その中の東3ホールでは日本ネイリスト協会が主催する世界のネイルが集結したトレードショー、セミナー、ステージで展開する東京ネイルフォーラムと言う催しがあります。そこでJAFTAもフスフントシューインスティテュートのブースに併設し来場者を対象にフスフレーゲ体験の実演を行いました。3日間で約80名の方に施術いたしました。モニターとなっていただいた方へ下記のアンケートを取りましたので報告いたします。



知名度アンケート：

Q1. ドイツ式フットケア フスフレーゲをご存知でしたか？N=63

・はい 22人 (35%) ・いいえ 41人 (65%)

Q2. ドイツ式フットケア フスフレーゲを受けられるのは初めてですか？N=63

・はい 55人 (87%) ・いいえ 8人 (13%)

施術ニーズ調査：

Q3. 気になる箇所はどちらですか？(複数回答)

・爪 6人 ・巻き爪 36人 ・角質 36人

満足度調査：

Q4. フスフレーゲを体験されていかがでしたか？ N=60

5 満足-4 まあまあ- 3 普通- 2 不満-1 大いに不満

・5点：51人 ・4点：6人 ・3点：3人 ・2点：0 ・1点：0



Q5. フスフレーゲをお知り合いに紹介したいと思われましたか？N=59

5 強く思う-4 機会があれば-3 積極的には思わない-2 思わない-1 全く思わない

5 点 : 42 人 ・ 4 点 : 10 人 ・ 3 点 : 6 人 ・ 2 点 : 0 ・ 1 点 : 1 人

考察

・ 昨年のアンケート回収枚数が 82 枚、今回の回収枚数が 65 枚（無記入含む）と前年比 21%減少しました。未回収分を考えると、実際に施術したモニター数は前年 100 名、本年 80 名と予想されます。各アンケート項目について

知名度

モニターのほとんどを占めたネイル関係者であったが、まだまだ知名度は低いと感じられます。知っている人のなかでもフスフレーゲを受けたことのある人は 6 名（27%）であった。母数が少ないため正確な判断はできないが、3 割程度は現状において妥当な数字に思われます。

施術ニーズ

巻き爪・角質（タコ・魚の目）といった違和感を伴うような症状に対するニーズが高い。裸足を見せるというケースは日常生活の中で多くなく、現状では美容（飾るという意味合いで）というより健康としての需要がメインだと思われる。

満足度

施術者が目の前にいる状態でのアンケートなので高い点数が出やすい設問ではある。それでも平均点が 4.8 であり体験自体には概ね満足していただけたのではないだろうか。紹介動向も 5 点、4 点が多いと予想しており、事実 9 割方この点数に分布された。



以上

今回、モニター数が減少した原因として施術者はバン産商株式会社フスウントシューインスティテュートの男性スタッフであったため、ほとんどの来場者は女性であり体験しづらかったかも知れません。ブースの作り方もフスフレーガーの方や社内からも指摘がありました。改善していきたいと思えます。フスフレーゲをまだまだ知らない人が多く、ニーズも高いことから今後の発展に期待がもてることが確認できました。

文責：事務局長 遠藤 拓

アンケート実施者：藤田 健介

日本フットケア技術協会(JAFTA) 事務局 〒111-0043 東京都台東区駒形 2-5-7 フスウントシューインスティテュート内 TEL. 03-3843-6561 FAX. 03-3843-6562